

決まりました

●お問い合わせ／市総務課総務係 ☎26-5700

者が決まりましたのでお知らせします。市の功労表彰と市民表彰は、
 範となる篤行者、市民生活の向上や公共的活動に尽力された方を表彰するものです。

功労表彰



五十嵐 敬司氏
 79歳／若原町
 教育・学術興隆

37年間の教員生活において、
 楽しく分かりやすい高校理科
 教育に邁進され、卓越した指
 導力と情熱により「科学の甲
 子園」と言われる日本学生科
 学賞最優秀賞に何度も導いて
 こられました。

その後、山形大学などの講
 師として、生き物の素晴らし
 さを伝える多くの講座を担当



佐藤 勝男氏
 75歳／久保田
 保健・衛生

平成5年から北平田地区衛
 生組合会長として、また平成
 11年からは酒田市衛生組合連
 合会副会長、平成15年からは
 同会長として本市の公衆衛生
 活動に尽力されました。

平成19年に旧1市3町の衛
 生組織が合併して酒田市衛生
 組織連合会を設立した際も、
 初代会長を務められ、住みよ

され、ふるさとの自然や生物
 について広く紹介した本も出
 版されました。

平成7年から酒田市文化財
 保護審議会委員を務め、平成
 14年からは同副会長として活
 躍されるとともに、県の文化
 財保護指導委員として飛島の
 貴重なサンゴの生態調査に携
 わり、本市の自然保護活動の
 推進に尽力されました。

平成17年からは酒田ユネス
 コ協会会長として、さまざま
 な事業を積極的に展開し、市
 民の生涯学習の充実と発展に
 貢献されました。

い快適なまちづくりと生活環
 境の向上に手腕を発揮されま
 した。

この間、地区の指導者を養成
 するための研修会の開催やご
 みの分別排出の徹底、集団資源
 回収の実施、不法投棄の防止活
 動や「町をきれいにする週間」
 などに携わり、市民のポラン
 ティアおよび環境美化意識の
 向上に貢献されました。

さらに、平成11年から14年
 の長きにわたり、酒田市献血
 推進連絡協議会会長を務めら
 れるなど、本市の保健衛生の
 充実に尽力されました。



宮田 浩一氏
 67歳／亀ヶ崎
 青少年健全育成

昭和63年に酒田市子ども会
 育成連合会会長に就任以来、市
 の子ども会の先導者として活
 動される一方で、平成16年から
 は県の会長、平成23年からは東
 北地区の会長として、さらに平
 成24年からは全国子ども会連
 合会副会長の要職を務められ、
 25年の長きにわたり、常に青少
 年の健全育成活動をリードし

てこられました。

この間、会報「市子連」の創
 刊や「遊びの楽校」をはじめと
 するさまざまな子ども育成事
 業を積極的に展開するととも
 に、市の子どものまつりの実行
 委員長として、祭りを成功へ
 と導いてこられました。

また平成4年から現在まで
 21年にわたり、酒田市青少年
 を伸ばそう市民会議会長も務
 められ、本市の未来を担う子
 どもたちの社会性や豊かな人
 間性を地域全体で育むため
 に、青少年の健全育成に尽力
 されました。



池田 俊夫氏
 65歳／新井田町
 保健・衛生

昭和57年から酒田地区歯科
 医師会の理事として、また平
 成12年から同副会長、平成18
 年から平成23年までは同会長
 として、市民の医療、保健衛
 生、学校保健の向上発展に尽
 力されました。

少子高齢化社会を迎えた中
 で、介護のための「口腔ケア」
 をテーマとした市民および介

護事業者向けの講演会を開催
 するなど、口腔ケアによる疾
 病予防の大切さを市民に知ら
 しめるとともに、学校歯科医
 としては、昭和51年から現在
 まで37年の長きにわたり、児
 童・生徒の健康保持・増進に
 力を注いでこられました。

また平成13年から平成25年
 3月までは、酒田飽海学校保健
 会の副会長として児童・生徒
 の健康増進のために尽力され
 るとともに、酒田地区救急医療
 対策協議会委員として、地域の
 救急医療体制の整備、充実に
 も指導的役割を果たされました。

平成25年度の各表彰が

平成25年度の市の功労表彰、市民表彰、酒田市農業賞、酒田市新田産業奨励賞の受賞
 広く公共の福祉や市勢の発展に尽力され、功労が特に顕著な個人または団体、市民の模

市民表彰



阿部 茂氏
 78歳／字本町
 住民自治

平成8年から松嶺公民館運営協議会会長および松嶺公民館長として、長きにわたり地域の特色ある事業を推進し、生涯学習・地域振興に尽力されました。

公民館体制からコミュニティ振興会への移行に際しては、先頭に立って地域をまとめ、平成21年の設立時には初代松嶺コミュニティ振興会会長に就任され、平成22年から酒田市松山地区コミュニティ振興会連絡協議会副会長、平成23年から同会長として、本市の住民自治の推進に貢献されました。



土井 司氏
 73歳／東大町
 交通安全

昭和63年から現在まで、25年の長きにわたり、酒田

市交通指導員として、地域の学童・園児などの通学時の安全確保と交通指導を行うとともに、小学生に対する自転車安全教室の講師を務めるなど、交通安全思想の普及啓発活動に積極的に取り組んでこられました。

平成14年からは酒田市交通指導員会副会長として、豊富な経験を生かした安全指導技術の向上と会員相互の連携に尽力し、事故のない安全で安心なまちづくりに貢献されました。



定成 道子氏
 73歳／若竹町
 観光・文化振興

幼少の頃から日本舞踊や三味線に励み、長きにわたり伝統芸能の継承に取り組んでこられました。

平成2年に、酒田の料亭文化の復活と、地域振興に役立てる目的で、「酒田舞娘」制度が発足して以来、「力弥姐さん」として、これまで30人を超える酒田舞娘

を育ててこられました。現在では、本市の観光まちづくりに欠くことのできない大きな存在となっており、料亭文化、伝統芸能などの継承および本市の観光振興に貢献されました。



齋藤 正氏
 70歳／中牧田
 住民自治

平成17年に中牧田部落会長（平成24年に中牧田自治会に名称変更）に就任以来、8年の長きにわたり自治会長を務められ、その間、強い責任感を持って自治会の発展と地域住民の福祉の増進に力を注いでこられました。

平成21年からは、松山地区自治会連合会副会長を4年にわたり務められ、地域に根差した自治会活動の指導・育成にその手腕を遺憾なく発揮されるとともに、本市の住民自治の推進に貢献されました。



齋藤 衛氏
 69歳／大槻新田
 住民自治

平成11年に大槻新田自治会長に就任以来、14年の長きにわたり、地域の要となつて自治会の発展と住民福祉の増進に努めてこられました。

平成19年からは中平田地区自治会長、酒田市地区自治会連合会理事として精力的に地域の自治会活動の指導・育成に取り組まれるとともに、平成21年からは、酒田市地区自治会連合会副会長および酒田市自治会連合会連絡協議会事務局次長として、本市の住民自治の推進に貢献されました。



酒田市農業賞

初代酒田農業協同組合長 伊藤惣治郎氏の遺志により遺族から寄付された伊藤農業振興基金をもとに制定されたもので、農業振興に積極的に取り組み、他の模範となる個人または団体を表彰するものです。



庄司 隆 氏
65歳/生石

良質米の生産と庄内柿の産地ブランド化に力を注がれるとともに、地域営農の中心的存在として後継者育成や農業生産性向上を実践してこられました。

特に今年で北海道への出荷が100周年を迎える庄内柿の生産については、積極的に生育と品質管理の指導や販路拡大などに努められました。

また農業関係や東平田自治会長会会長の要職にも就かれ、本市農業の振興と発展、住みよい地域づくりに貢献されました。



阿部 重彰 氏
63歳/城輪

良質米の生産と小菊や果樹を取り入れた複合経営に力を注がれるとともに、地域営農の中心的存在として「集落営農組織 本楯ファーム」や「農事組合法人 ビーンズ本楯」の設立・運営に携わってこられました。

また農業関係の要職を歴任された中で、県指導農業士などの要職にも就かれ、地域のモデル的農業経営の実践者として、研修生の受け入れなど、積極的に担い手育成に尽力され、本市農業の振興と発展に貢献されました。



酒田市新田産業奨励賞

株式会社平田牧場と株式会社平牧工房から寄付された新田産業振興基金をもとに制定されたもので、本市の産業振興に貢献し、他の模範となる団体を表彰するものです。



高橋 充治 氏
69歳/宮海塩代表
酒田の塩

自身が営む建築業で余った木材・端材を燃料として使い、塩を製造することを考案されました。試行錯誤を重ねて製造方法を確立し、まろやかで旨みのある「酒田の塩」として、平成19年に特殊用塩製造業の認可を受け、販売を開始しました。

海水の他に、温泉の源泉水を原料として製造することに取り組み、県内の温泉施設と共同開発して特徴ある塩を販売するほか、他社での派生商品の開発にもつながっており、地域ブランドとして酒田の知名度向上に大きく寄与しています。

廃棄物を燃料に転換させて商品開発した発想、また地域貢献、地

域活性化の観点から、さらにさまざまな商品開発に取り組んでいる姿勢は他の模範となり、市の産業振興に貢献されました。



JAそでうら
花き部会
(部会長 佐藤 俊一氏)

花卉生産の将来性に早くから着目し、農家所得の向上と安定経営を目指して、若い担い手を中心に平成12年に設立されました。

生産技術研修や販売促進などの活動を活発に行い、高付加価値品種の生産振興を、他に先駆け意欲的に進めたことで、袖浦ブランドの評価を飛躍的に高めることに成功しました。

研究を重ねた栽培技術や高い選別基準に基づく高品質生産によって得られた評価は、農家所得の向上に結び付いており、後継者の確保に大きく寄与しています。

また同部会は、高い品質を保持するために、品質を重視する生産者で再構成を図るなど大きな変革を乗り越えており、その取り組みは他の模範となり、市の産業振興に貢献されました。